

第21回 芳賀町中学生海外派遣事業報告



11月5日から13日までの9日間、第21回中学生海外派遣事業が実施されました。芳賀中学校の16人の生徒が、カナダのバンクーバー・ビクトリアに派遣されました。

この事業は、外国の風土や文化に触れることで国際的な視野を養い、異なった背景を持つ地域と触れ合うことにより、郷土芳賀町の長所や魅力を再確認することなどを目的としています。



参加者の感想

君島絵理さん

私たちは、カナダ第三の都市であるバンクーバー、広大な自然が広がるビクトリアという二つの都市を訪れました。16人それぞれが「自分の語学力向上」や「社会に貢献できる人になるため」「日本の文化と外国の文化の違いやお互いの国の良さを見つけるため」などの目標を持って、この海外派遣に参加しました。

小玉百恵さん

コルキッツミドルスクールの子どもたちは、授業中とても積極的に手を上げて発言していて、すごいなと思いました。家族への手紙を英語で書いたり、音楽の授業で演奏に参加したり、ごみの分別について学ぶ授業に参加したりしました。学校訪問を通して、日本との違いを学び、貴重な体験をすることができました。

中川大樹さん

海外派遣を終えて、日本という枠を超え、世界という広い枠で物事を考えられるようになっていける気がします。国際社会の一員となれるよう、海外派遣メンバー一人一人が、今回の経験を生かしていきたいと思います。



参加者

団員	館野 敢主 佳
3年	中川 大樹
	上田 莉瑚
	君島 絵理
	小玉 百恵
2年	廣田 萌
	荷見 優花
	吉永 尚生
	菊池 菜美
	小口 千乃
	酒井 彩
	今井 佳苗
	植木 大介
	小野 愛梨
	大島 爽楽
	齊藤 佑
引率者	岩淵 徹 教頭
	篠原 めぐみ 教諭
	伊藤 祐一 教諭

日程

5日(木) 専用バスにて芳賀中学校発、航空機にて成田発バンクーバー着、専用バスにて市内観光後、ホテルへ移動

6日(金) ホテルから専用バスにてビクトリアへ移動、フェリー乗船、オリエンテーション、ホストファミリーと対面式、ホームステイ開始

7日(土)～9日(月) ビクトリアにてホストファミリーと過ごす(9日:学校訪問(授業参観、交流会))

10日(火) ホストファミリーとお別れ、専用バスにてバンクーバー島観光、フェリー乗船、フェリー内でホストファミリーが用意したランチボックスで昼食、専用バスにてホテルへ移動

11日(水) バンクーバーにて班別活動(キャピラノ渓谷、サイエンスワールド、バンクーバー博物館)

12日(木) 専用バスにて空港へ移動、航空機にてバンクーバー発成田へ

13日(金) 成田着、専用バスにて芳賀中学校着



▲今西 里英さん

2年連続知事賞という報告を聞き、うれしい半面とてもびっくりしました。もともと伝統工芸が身近になつたらしいな、もともと伝統工芸を知ってもらえるといいなという思いでこの作文を書きました。このような施設ができれば、より素晴らしい栃木県になると思います。

「もし私が知事になったらこんなことをしてみたい」というテーマで、県が小学校4・5・6年生から作文を募集したところ、1,951点の応募がありました。その中から、芳賀南小学校6年生の今西里英さんの作品が、見事知事賞16作品の一つに選ばれました。今西さんは、昨年度に引き続き2度目の受賞となりました。表彰式は、12月18日に県公館で行われました。

今西さんが第23回「ジュニア知事さん」受賞

「とちぎ伝統工芸体験館」

芳賀町立芳賀南小学校 6年 今西 里英

私は昨年度「とちぎ子ども未来創造大学」で、結城紬の講座に参加しました。私は結城紬の魅力に惹かれ、将来は結城紬を受け継ぐ仕事に就きたいと思いました。しかし、このような体験は、限られた講座しか体験することができません。だから、私が知事になったら、「とちぎ伝統工芸体験館」を作りたいと思います。

ここでは、栃木の伝統工芸をいつでも体験することができ、結城紬、真岡木綿、益子焼、烏山和紙、日光彫などが体験できるブースがあります。体験すると、「とちまのカード」にポイントが貯まり、沢山ポイントが貯まると、商品券として伝統工芸品を購入できるようになります。

現在、伝統工芸士は高齢化していて、後継者がいないところもあります。小さいころから伝統工芸にふれることで、伝統工芸に関わる仕事に就きたいと思う人が沢山出てくるとと思います。

